

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、以下に助成事業の概要を簡潔に記入してください。
 下記に必要事項を記入または○をつけてください。1ページ以内に収まるよう記入してください。

組織・グループ名	社会福祉法人 横浜市旭区社会福祉協議会
グループの属性	①セルフヘルプグループ・当事者団体等 ②ボランティアグループ等 <input checked="" type="checkbox"/> ③市町村社会福祉協議会及びそれを構成員とする実行委員会等
助成区分 該当テーマ等	<input checked="" type="checkbox"/> ①一般助成 <input type="checkbox"/> ②協働モデル助成 ※②を選択した場合、本会の提示した該当テーマを記入 []
助成事業名	孤立させない！「つながり食料支援事業」

助成事業の概要〔目的・取組み概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入。

1. 取組概要

- ・つながり食料支援事業（通年実施（月1回）、延べ118世帯利用）
 区内農家から提供された野菜を民生委員を通じて相談者にお届けし、顔の見える関係づくりを行う。対象世帯は生活困窮世帯等、社会的孤立状態にある世帯。
- ・ひとり親世帯向け旭区産野菜無料頒布会（年2回開催、延べ80組参加）
 ひとり親世帯を対象に区内農家から提供された野菜を無料提供するほか、子ども向けコーナー、親を対象とした相談コーナーを設ける。区民児協と協働で実施。
- ・各地区食品等無料頒布会・生活相談会（年7回開催、延べ243組参加）
 生活にお困りの方や不安を感じる方等を対象に、地域内で集めた食品・日用品等を無料配布するとともに、何気ないやり取りの中から生活相談に応じる。各地区社協と協働で実施。

2. 取組の成果・課題、今後の展望

支援をきっかけに生活困窮世帯等が民生委員等の地域住民と顔見知りになり、社会的孤立を防止することにつながった。特に、つながり食料支援事業の利用者については、民生委員との関わりをきっかけに、気持ちの変化がみられる方もいるなど、成果が感じられた。また、本事業実施により、民生委員や地区社協役員、さらには寄付者等、地域住民が「孤立しがちな世帯」を気にかける意識が向上した。

利用世帯の中には、継続的に伴走型の支援を要する方も多く、地域住民・支援機関との連携による見守り・相談支援の仕組みづくりが必要。また、利用者の活躍できる場づくりにも取り組みたい。

3. 次年度以降の展開

- ・つながり食料支援事業、ひとり親世帯向け野菜無料頒布会は継続実施。
- ・各地区食品等無料頒布会・生活相談会については、各地区の状況に応じて実施予定。

